2019021２提言第１稿改／PG

山代・岩国・防長をゲーム旅で斬ってみた！？

[岩国市への提言のまとめ]

❶石橋を叩いても渡らない岩国市と、サイクル県やまぐちとの連携と、Go羅漢ハイランドギャザリングについての提言

★「石橋を叩いても渡らない」は、ある意味正解です。多くのサイクリングイベントは、道路の目的外使用に当たり、問題も少なくありません。シンボルイベントがクローズドサーキットのように助成金へのアプローチは、過去に実施実績もあり、競技連盟の隠密調査も入っている羅漢での、MTBイベントが最短距離と思われます。

❷里の駅の立体企画と、地域資源を巡る移動手段の確保と、参加者のモチベーションを上げる工夫についての提言

★イベント的にも、スタンプラリー的にも楽しめる「岩国かるたドライブ」は、買い物タスクというオプションもあり、点在する「里の駅」との相性は証明済みです。四季に合わせた展開を継続することで、地域資源のストックやブランド磨きが促進されます。ホームページ、イベント、媒体コラボ追体験と、立体企画を実現させましょう。

❸自転車活用推進計画の限界と、玉石混合の自転車ソフトと、スーパー先達で読み解く日本の実情についての提言

★国や県や自転車協会が自転車の利活用に注力するも、「走り出したら自己責任」や「時には参加者、時にはスタッフ」という欧米的な土壌が無ければ絵に描いた餅です。また、昭和からの忘れ物、マナーアップやインフラ整備というカビた餅もあります。市民の足を大胆に確保するサイクリング特区で未来を語りましょう！

合併で拡大した岩国市の福地化を有志で考える'いわくに研究会'の最近の活動は、「ゲーム旅」を用いた地域資源再発見企画の提案です。今回の提言、●羅漢高原でのMTB企画、●里の駅の立体企画、そして●市民の足を確保するサイクリング特区、この三つを結ぶのは、正に「ゲーム旅」に他なりません。

この遊びには「移動の自由」という、人類の大命題も含まれています。平成の大合併に含まれる少子高齢化対策、「コンパクトシティ」と類似もしていますが、微妙に異なってもいます。コンパクトシティも最適解ではなく、日本の原風景を捨てる覚悟も求められているからです。その原風景を含む地域資源に有機的に立体的にスポットを当て、様々な問題を浮かび上がらせる「ゲーム旅」で、岩国市の福地化を考えませんか？

「ゲーム旅」の応用企画として、「岩国～長門スペシャルサイクリング」、「特区シンボル・六日市トンネル往来」、「宮島～羅漢アイランドハイランド」、「コンパクトシティ自転車ロングタイムレンタル」、そして企画の裏方「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」等を考えています。

国や県では広すぎる、市町では狭すぎる。そこで空からの水を分けた範囲を、錦川流域エリアとして、特区の可能性を考えたいと思います。その情報発信と人材交流の基地を1000mの高原に置き、皆様にもその風景を見て頂きたいと思います。

サイクリング特区に「ゲーム旅」を重ね移動手段を横断することで、道路インフラや公共移動や、それらの供給やメンテナンス、そして健康増進観光余暇活動ブランド磨きや人材育成、さらに雇用の創出も守備範囲とし、皆様の政治課題にシンクロするもので、引き出しに加えて頂ければ幸甚です。以上、宜しくお願い申し上げます。

2019年2月＊＊日
いわくに研究会代表／中野　敏
コースクリエイト山口&いわくに研究会／石丸英明
〒740-0044　岩国市通津 1951-10
TEL/090-5573-9372　FAX/03-6368-4661
E-mail/nqa50755@nifty.com

COURSE CREATE

《山代街道物見遊山外伝//サイクリング特区にしき川流域》

《やましろフュージョン：04》

※両翼ソフトとは、「クローズドサーキット」と「オープンロード」での企画のことで、「レディ&プロモーション」が風翼の役割を担います。

（５）岩国市への提言に対応

５枚目は、その明治維新 150 周年応援企画・毛利チャレンジの終了後に、岩国市や山口県に提案した資料です。

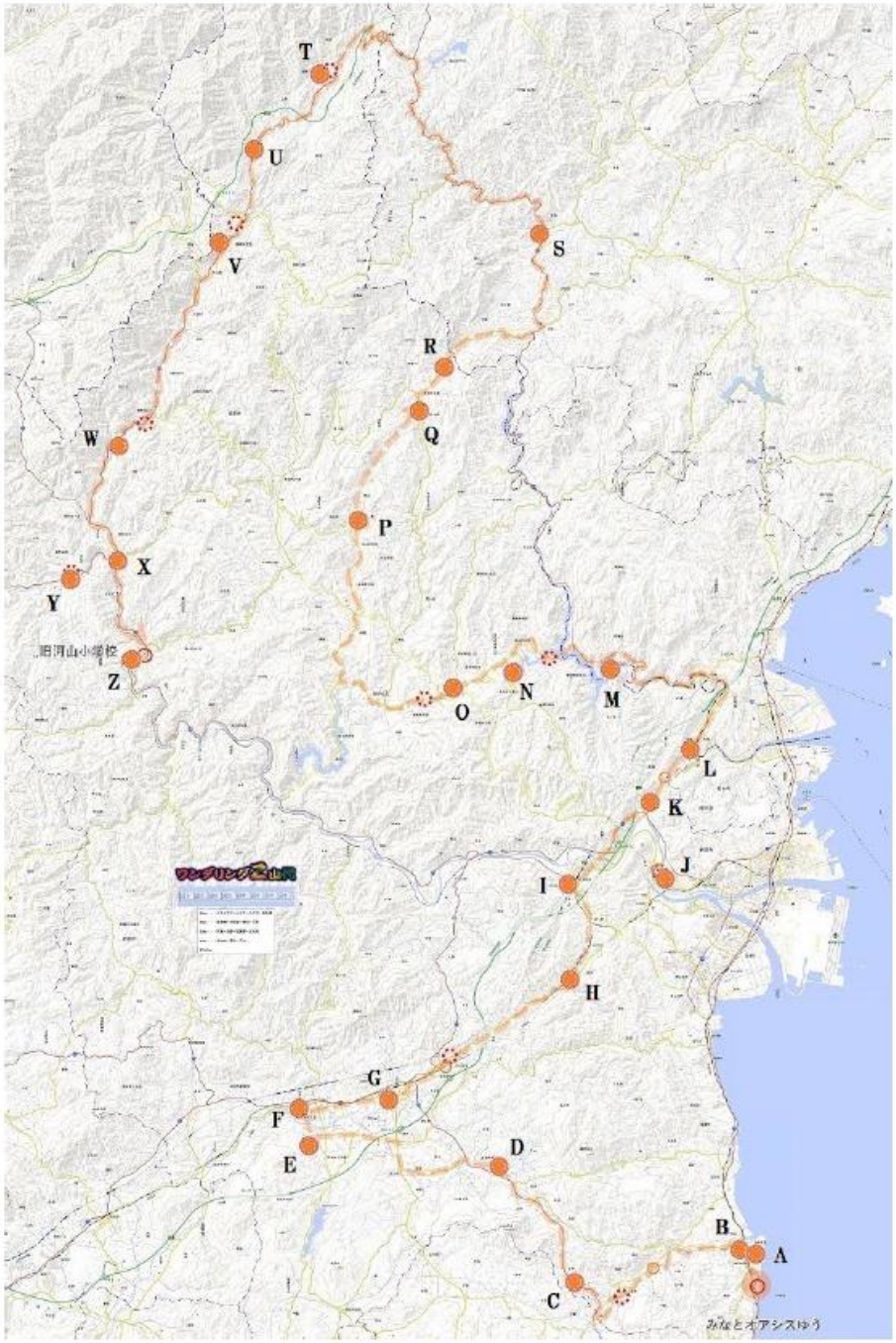
２０１９年２月の岩国市への提言では、石橋を叩いても渡らない岩国に対し、サイクル県やまぐちとの連携や、岩国里の駅との立体企画、そして国の推進する自転車活用推進計画へのアプローチなどを訴えています。

また、２０１９年１１月の「岩国市への提言・第二弾／山口県への報連相」は、「やましろフュージョン」の提案として、「羅漢トレイルフェスティバル」「山代街道ファミリーアドベンチャーゲームズ」「やましろ MTB ツアーズ」「山代かるたドライブ」などを提案。

それらを微調整しながら、具体化を進めている最中に、コロナ禍に見舞われ、それらの中から今回の「ワンダリング Z 山代」の抽出に至ったという経緯です。

前段が長くてスミマセン！

「カテゴリー別チラシ」と「エリアマップ案」



（６）カテゴリー別チラシとエリアマップに対応

６枚目にして、やっと、今回のチラシです。
とは言え、カテゴリー別に４種類あります。

上左は、
共通バージョンで、セルフ参加のイメージを前面にしています。

上右は、
親子で行くバス＆清流線のゲーム旅で、このチラシを、市内の小中学校の児童生徒に配布しています。

下左は、
タイトルは岩国かるたドライブとなっていますが、みなとオアシスゆうをスタートに、地図も兼用する、モトツーリングとの兼用になっています。
掲載しているエリアマップ案は、そのモト＆カーのもので、岩国里の駅・全１２カ所を巡るように設定しており、この企画の特徴である、点を線で結び、面を表現するを、しっかりと表しています。

そして下右は、
錦総合支所に集合し、スタート直後に、とことこトレインの光るトンネルに向かう、自転車さんぽです。ただ、ロングのサイクルトレジャー、ショートのポタリングトレジャーは、別々のマップと問題になっています。